

## 第62回大東市民体育大会総合開会式・まとめ(案)

### 総括 平成29年5月14日(日) 午前9時30分～

昨年度から50名程度の増加、特に、模範演技にミニバスケットボール競技を取り入れたことにより、その保護者などによる観覧者が例年より多く見受けられた。

参加者数 総数：672名（内訳⇒観客：90名、連盟関係：541名、来賓：19名、主催者など関係者：22名） 【参考：616名(昨年度)】

#### 1 準備

- ・ 会場設定、また終了後の後片付けの責任者が明確でなかったため、事前に体協内で確認すること。来賓誘導に市職員が不在したことから、要員の確保を求める。
- ・ 大会の気運、意識の醸成を目的に、のぼりを体育館周辺に立てるとともに、観客席に「ガンバレ大東」の事業キャンペーン横幕を掲示したことから、その目的は達せられたのではないか。北河内総体など管外大会での活用が望まれる。

#### 2 当日

- ・ 昨年度、国旗、市旗、体協旗の掲揚の際、スタンド観客に徹底されず、一部着席のままであったが、今回は司会者によるアナウンスがされたことから全員となった。その後の北河内総体総合開会式で掲揚・唱和がないのは違和感を感じる。
- ・ 退場の際、来賓を優先すべきである。(?)
- ・ 昨年度から実施している自転車駐輪場の手前から駐輪も2回目となったことから、式典終了後の動作が円滑になってきている。
- ・ 来賓用のスリッパが購入後20年経過しており経年劣化も進んできていることから、購入する必要がある。
- ・ 終了後の車両の出口誘導は、体育館、四条中学校のそれぞれ、左折誘導を徹底すべきである。

#### 3 事後

- ・ 各連盟参加者の事務局への報告が十分でなかった。
- ・ 終了後のメダル、賞状の受け取りを徹底すること。

第63回大東市民体育大会総合開会式について(素案)

○ 日 時

平成30年5月13日(日) 午前9時30分～

○ 事業内容

① 事前

啓発の多様化（ネットの活用）、のぼりの作製・増設

② 模範演技

（案の1）健康体操など全員で取り組み、日常や競技への準備に役立てる。

（案の2）前回までの繰り返し（8競技）

柔道 ⇒ 空手道 ⇒ 剣道 ⇒ 相撲 ⇒ 卓球 ⇒ バドミントン  
⇒ バレーボール ⇒ バスケットボール

※ 野外での球技競技実施は回避する。

③ 演技・入場行進先導

「チアリーディング（大阪産業大学体育会チアリーディングチーム）」

④ 観客、行進者の参加要請